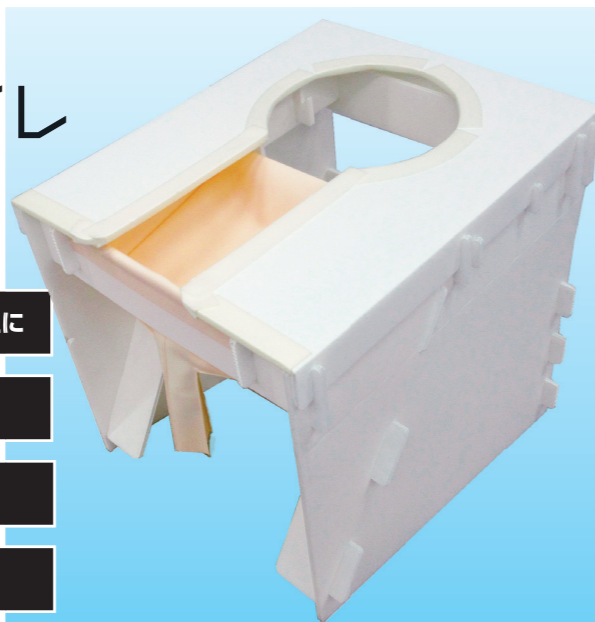


UDドライトイレ

UDドライトイレ



- こんな時
こんな場所
こんな方に
- 一般家庭での在宅避難時のトイレの備えに
 - エレベーターの停止した高層階に住む災害弱者の方に
 - BCP対策アイテムとして企業様へ
 - 公共施設・高齢者向け施設・病院などのトイレの備えに

日本トイレ研究所 (http://www.toilet.or.jp/) 掲載製品

特長

ポータブルUDドライトイレは、「トイレの未来を考える会」代表清水芳久（京都大学教授）の監修により完成した、水や電気が止まっても、し尿を分離して処理することで、病原菌を封じ込め、安心して衛生的にご使用いただけるトイレです。

東日本大震災では「トイレの未来を考える会」により、被災地に500個を支援し、ご利用いただいた実績のあるトイレです。



東日本大震災当時の様子



「トイレの未来を考える会」代表 清水芳久（京都大学教授）



安全でおいしく、きれいな水にあふれる日本をめざし、水環境の健全化に貢献した活動を顕彰する賞。主催は日本水大賞委員会。秋篠宮さまが名誉総裁を務め、読売新聞社、国土交通、農林水産、文部科学、経済産業、外務の各省、日本河川協会などが後援する。

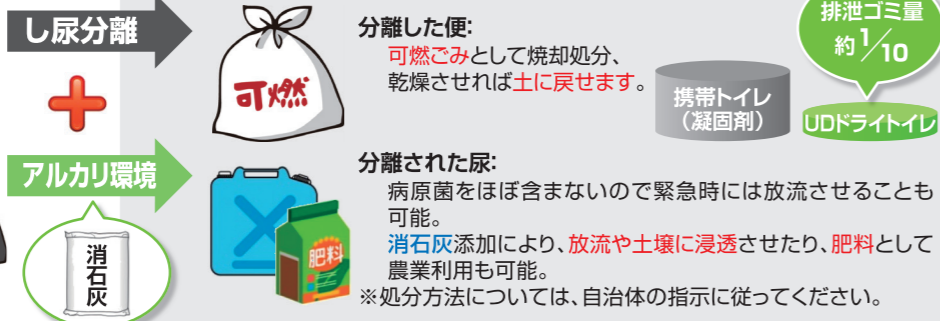
災害時のトイレ・し尿問題

人は、毎日約1~1.5Lの尿と約0.3Lの大便を排泄。



下水処理施設の復旧に時間がかかると、通常の汲み取り式ではすぐに満杯になってしまいます。

水を使用せずに、し尿分離(尿と便を分ける)することにより携帯トイレ(凝固剤)と比べて排泄ゴミの量が激減します。



① なぜ臭くないの?

大便と尿は身体の別々の穴から出て来ます。



それぞれを分けて消石灰でアルカリ環境にすることで腐敗臭と細菌の増殖による悪臭の発生を防止します。

通常使用される凝固剤と比較して消石灰のランニングコストは

ランニングコスト 1/10~1/15



② 洋式・和式のどちらでもセット可能!



床上にもそのまま設置して使用できます。



③ 衛生的!



感染症を予防します
便に消石灰をかけることで病原菌の無害化を促進できます。便や尿は回収できるので、トイレ空間を清潔に保てます。

④ コンパクトで組立簡単!



1箱に収納できて場所を取りません。1人でも簡単に組み立てることが出来ます。

⑤ 丈夫で高い耐久性!



水洗いができて繰り返し使用*できます。*ライフライン復旧後も再備蓄が可能 耐荷重:約100kg